

令和4年2月22日（火）

第2回定例教育委員会会議録

我孫子市教育委員会

1. 招集日時 令和4年2月22日(火) 午後2時
2. 招集場所 教育委員会 大会議室
3. 出席委員 教育長 丸 智彦 委員 足立 俊弘
委員 蒲田 知子 委員 村松 弘康
委員 新山 訓代
4. 欠席委員 な し
5. 出席事務局職員
教育総務部長 飯田 秀勝 生涯学習部長 木下登志子
教育総務部次長兼学校教育課長 鈴木与志実
生涯学習部次長兼公民館長兼生涯学習センター長兼生涯学習課長 菊地 統
総務課長 森田 康宏 教育研究所長 遠藤 美香
生涯学習部参事兼鳥の博物館長 丸山 正晃
文化・スポーツ課長兼白樺文学館長兼杉村楚人冠記念館長 辻 史郎
指導課長兼小中一貫推進室長 佐々木祐子
少年センター長 齋藤絵里香 図書館長 宇賀神 修
6. 欠席事務局職員 な し

午後 2 時 0 0 分開会

○丸教育長 ただいまから令和 4 年第 2 回定例教育委員会を開会します。

会議録署名委員指名

○丸教育長 日程第 1、我孫子市教育委員会会議規則第 3 1 条の規定により、会議録署名委員を指名します。蒲田委員にお願いします。

議案第 1 号

○丸教育長 日程第 2、議案の審査を行います。

議案第 1 号、令和 4 年度我孫子市教育施策の策定について、事務局から説明をお願いします。

○森田総務課長 議案第 1 号、令和 4 年度我孫子市教育施策の策定について説明します。

提案理由は、令和 4 年度における教育行政の施策を定めるため、提案するものです。令和 4 年度についても、教育施策の基本方針を「個性を尊重し、互いに学び合う、学校教育並びに生涯学習の推進」として、教育行政を推進していきます。

令和 4 年度から始まる我孫子市第四次総合計画との整合性を図るため、7 ページの我孫子市教育施策改定整理表の①「幼児教育・保育から小学校教育への円滑な接続や、いわゆる「小 1 プロブレム」の解消などに向けた幼保小連携の推進」を④へ、8 ページの⑨「学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、社会的・職業的自立に向け必要な基盤となる資質・能力を育成するキャリア教育の充実」を⑥へ移動しました。なお、施策の内容については、変更はありません。

また、同じく我孫子市第四次総合計画との整合性を図るため、7 ページ、

重点施策1（3）「小中一貫教育の推進」を「幼児教育と小学校教育との連携・小中一貫教育の推進」へ、8ページ、重点施策2（1）「地域全体で学校教育を支えるしくみづくり」を「地域とともにある学校づくり」へ文言を整理しています。

次に、7ページ②を学習指導要領に合わせて、「生きて働く「知能及び技能」の習得、未知の状況にも対応できる「思考力、判断力、表現力等」、学びや人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力、人間性等」の育成」と文言を整理しました。続いて③、令和3年1月の文部科学省答申「令和の日本型学校教育」の「個別最適な学び」に合わせて、「指導方法や指導体制の工夫改善による「個に応じた指導」の充実」と文言を整理しました。次に、⑦で令和4年度から開始する学校運営協議会に関する施策を新たに追加したため、⑤「中学校区ごとに目指す15歳の生徒像を基にして作成したグランドデザインを掲げ、学校運営協議会制度の導入準備と地域の特色と人材を最大限に生かした小中一貫教育の推進」から学校運営協議会制度の導入準備に関する文言を削除しました。

8ページ⑧、新たに制定した地域学校協働活動推進事業実施要綱に合わせ、注釈VI「地域コーディネーター」を注釈VI「地域学校協働活動推進員」に文言を整理しています。続いて⑩、学習支援の推進を図るため「地域の大学・高等学校との連携強化による児童生徒への学習支援の推進」と文言を整理しました。

9ページ⑪、⑫、昨年度までの「適応指導や生徒指導を充実させるシステムの構築と相談体制の整備」という一つの施策について、内容をより明確にするため「生徒指導を充実させるシステムの構築」、「社会への適応を目指した相談体制の整備」の2つに分割しました。次に⑬、「我孫子市適応指導教室「ヤング手賀沼」の機能強化」について、文部科学省から適応指導教室の標準的な呼称として「適応指導教室」とともに「教育支援センター」という名称を併用

することとされているため、「（仮称）我孫子市教育支援センター（適応指導教室）の機能強化」と改正します。なお、現在の「ヤング手賀沼」に代わる愛称については、引き続き検討をしています。

重点施策3（3）「子ども部及び健康福祉部との連携強化」について、これまで教育施策において子ども部との連携について明示してきましたが、子どもの成長、自立への支援をさらに充実させていくためには、健康福祉部との連携の強化も必要であることから、新たな施策として⑭「児童虐待の早期発見や児童生徒の自殺防止等についての連携強化」を追加しました。

最後に、⑮「スポーツ推進計画の策定」は、令和4年度に新たにスポーツ推進計画の策定を予定していることから、新たに施策を追加しました。以上です。
○丸教育長 以上で説明が終わりました。これより質疑を許します。質疑があれば挙手をお願いします。——よろしいですか。

それでは、ないものと認めます。議案に対する質疑を打ち切ります。

○丸教育長 これより採決します。

議案第1号、令和4年度我孫子教育施策の策定について、原案に賛成の委員は挙手願います。

（賛成者挙手）

○丸教育長 挙手全員と認めます。よって議案第1号は可決されました。

議案第2号

○丸教育長 続いて、議案第2号、我孫子市指定文化財の指定について、事務局から説明をお願いします。

○辻文化・スポーツ課長 議案第2号、我孫子市指定文化財の指定について説明します。

提案理由は、市内に所在する重要な文化財として、子の神5号墳（教育委員会蔵）を我孫子市指定文化財に指定するため、提案するものです。本件の指定については、令和4年1月28日に開催された我孫子市文化財審議会に諮問し、令和4年1月28日付けで答申されました。

第20号指定文化財として、種別は「記念物（史跡）」、名称は「子の神5号墳」、所在地は我孫子市寿2丁目23番1（寿古墳公園内）となります。所見について、17ページ図1をご覧ください。手賀沼の北岸側から根戸船戸古墳群、白山古墳群、子の神古墳群、高野山古墳群、香取神社古墳群と古墳が比較的多く集まっている地域を「我孫子古墳群」と総称しており、東京大学文学部考古学研究室によって1958年から1962年まで発掘調査がされ、『我孫子古墳群』として報告書が刊行されています。

17ページ図2、子の神古墳群の場所は、我孫子第一小学校の南側から子之神大黒天の境内に至るまでの約500mの範囲に13基の円墳と1基の前方後円墳が所在していましたが、現在では、4号墳、5号墳、8号墳、9号墳、14号墳の5基が現存しています。今回指定の対象となる5号墳は約20mあり、子の神古墳群の中央辺りにある第2群の中で一番大きな円墳で、発掘調査を行ったところ、須恵器の壺や円筒埴輪、朝顔形の埴輪、人物埴輪などが出土したため、年代は古墳時代の後期に位置づけられる6世紀後半と思われます。古墳の現状等については、転落防止のためフェンスで覆い、横に説明板を出すなど整備はすでに終わり、公園内にある古墳の様子を観察することができます。

古墳の意義として、子の神5号墳は子の神古墳群の中でも中心的な古墳であり、比較的よく残っている古墳であること、また、公園の中にあるため、現地で子どもたちなどの様々な方が観察できるといった事由から、指定文化財にふさわしいと所見が述べられています。以上です。

○丸教育長 ありがとうございます。それでは、これより質疑を許します。

質疑があれば挙手をお願いします。——よろしいですか。

それでは、ないものと認めます。議案に対する質疑を打ち切ります。

○丸教育長 これより採決します。

議案第2号、我孫子市指定文化財の指定について、原案に賛成の委員は挙手
願います。

(賛成者挙手)

○丸教育長 挙手全員と認めます。よって議案第2号は可決されました。

諸 報 告

○丸教育長 日程第3、諸報告を議題とします。事前に配付された事務報告、
事務進行予定資料などに補足する説明や追加する事項について、まず初めに、
まん延防止等重点措置期間の延長に伴う対応について、鈴木教育総務部次長お
願います。

○鈴木教育総務部次長 千葉県に対するまん延防止等重点措置が3月6日まで
延長されましたが、市内小中学校においては感染症対策を徹底し、感染リス
クの高い教育活動を控えつつ、児童生徒の学びを保障するという姿勢に変わり
はありません。その中で、校内において感染が広がる可能性がある場合は、学級
や学年を必要な期間閉鎖し、迅速に対応しています。

学級閉鎖の基準は、クラス内に複数の陽性者が出て感染が広がっている可
能性がある場合、PCR検査を受検し結果待ちの人数や健康状態、発熱等で休ん
でいる人数などを総合的に判断して決定しています。学級閉鎖期間は、土日
を含めて5日程度とし、学級閉鎖期間中には、タブレットで健康観察を行い、
体調の回復状況を見て再開するようにしています。複数学級が閉鎖し学年全体に
感染が広がっている、あるいはその恐れがある場合には、学年閉鎖にしていま

す。さらに、複数学年が閉鎖し、学校全体に感染が広がっている、あるいは広がる恐れがある場合には、学校全体を臨時休業にしています。市内小中学校における最初の学年閉鎖は、湖北中学校1・2学年が1月19日から21日まで学年閉鎖を行い、以後、久寺家中学校1学年、我孫子第一小学校1学年の計3校が学年閉鎖を行いました。学級閉鎖は、新木小学校が3回、湖北中学校、我孫子第一小学校、我孫子第三小学校が2回、高野山小学校、根戸小学校、湖北小学校、我孫子第四小学校、我孫子中学校、湖北台中学校は1回と、今日まで計15回実施しています。学校全体の臨時休業は行っていません。

学校では、マスクの着用、3密の回避、手洗いうがい、換気などの感染予防対策を徹底して教育活動の継続に努めています。また、今後も学級閉鎖等の状況になった際は、タブレットを持ち帰り、健康観察や授業の配信を受けることができるようにして、学びの保障に努めてまいります。以上です。

○丸教育長 続いて、まん延防止等重点措置期間の延長に伴う生涯学習部の対応について、菊地生涯学習部次長お願いします。

○菊地生涯学習部次長 生涯学習施設の公民館、図書館、市民体育館、五本松公園キャンプ場、白樺文学館、杉村楚人冠記念館、鳥の博物館等については、2月14日からのまん延防止等重点措置期間の延長に伴う変更は無く、いずれも開館時間等は通常通りとなります。

アビスタの「喫茶ぷらっと」を除く水分補給以外の飲食の禁止、市主催のイベント等の中止・延期、体育館やグラウンドなどの学校施設、地域交流教室については、引き続き3月6日までのまん延防止等重点措置の期間まで利用を休止しています。以上です。

○丸教育長 それでは、まん延防止等重点措置期間の延長に伴う対応について質問等あれば、お願いします。

○蒲田委員 コロナ禍において、学校で様々な対応していただきありがとうございます

ざいます。中学3年生は、進路を決める時期なので不安に思う子どもたちも多いと思います。不安の声に対してどのように対応したのか教えてください。

○佐々木指導課長 中学校3年生は今週の24日、25日に県立学校の受験が予定されています。今週は、中学校3年生は家庭学習とし、すでに進路が決まっている生徒は、24日、25日は午前中のみ登校と対応しています。

○蒲田委員 ありがとうございます。不安に思う子どもたちも多いと思いますので、どうぞよろしくをお願いします。

○丸教育長 そのほか質問等ありましたら、お願いします。——よろしいですか。それでは次に、めるへん文庫について、辻文化・スポーツ課長、お願いします。

○辻文化・スポーツ課長 今年度、「第20回めるへん文庫」として6月1日から9月7日まで作品の募集を行い、全国から寄せられた129編の子どもたちの力作の中から、最優秀として古登正子賞、小・中・高で各1席から3席までの作品を選び、2月15日に「第19集めるへん文庫」を刊行しました。

子どもたちの様々な視点で、テーマも非常に多岐にわたる作品を掲載していますので、ぜひご覧いただきたいと思います。また、めるへん文庫冊子に掲載している原画展をアビシルベで開催しているので、お時間がありましたら、ご覧いただきたいと思います。

来年度も継続してめるへん文庫を実施するとともに、新たな試みとして、子ども向けの創作ワークショップなどを行い、めるへん文庫の作品の幅をより広げられるように努力していきたいと思います。

○丸教育長 ありがとうございます。それでは、めるへん文庫について質問等ありましたら、お願いします。

○足立委員 今回のめるへん文庫の募集は、コロナ禍だからこそ子どもたちが物語を書くことに大きな意味を持つと思います。コロナの影響によって今回の

応募された作品の内容に変化等ありましたら教えてください。

○辻文化・スポーツ課長 めるへん文庫は自由に発想して書く物語が多いため、コロナの影響による大きな変化はありませんでした。ただ、コロナの影響で家にいる時間が増えたことにより、読書にいそしみ、自分の想像の中で物語を紡ぎ、文章につなげていく創作活動に繋がるきっかけになった子どもたちが増えたことによって、今回良い作品が集まったと思います。

○足立委員 よかったです。物語を書くことで救われる子どもたちは全国にいると思います。とてもいい取り組みで、今年も素晴らしい作品が集まったなと思いました。ありがとうございました。

○丸教育長 ありがとうございました。

続いてトロイメルコンサートについて、辻文化・スポーツ課長お願いします。

○辻文化・スポーツ課長 3月6日に実施予定のトロイメルコンサートについて、準備を進めていましたが、まん延防止等重点措置が延長されたこと、施設の利用等の制限による参加する方々の練習する機会の確保が難しいことを鑑み、今回は残念ながら中止の決断をしました。オンライン開催等の検討もしましたが、多くの観客の前で開催したいという演奏者の思いもあり、来年度に改めてトロイメルコンサートを実施できるよう担当とともに検討を進めていきます。

○丸教育長 ありがとうございました。最後に、鳥の博物館企画展「日本の鳥—収蔵標本公開—」について、丸山鳥の博物館長お願いします。

○丸山鳥の博物館長 鳥の博物館開館30周年を記念して令和2年度に開催し、その後、令和3年3月27日から6月27日まで特別企画として開催した「日本の鳥—収蔵標本公開—」を、3回目となる展示として令和4年2月5日から開催します。鳥の博物館開館以来、31年間継続して日本産鳥類全種のはく製の標本を収集することを目標に収集活動を行ってきました。現在まで日本産鳥類633種の6割にあたる389種の標本を収蔵しています。

これまで1万3,000人の方から好評をいただき、今後も標本を公開して多様な日本の鳥を紹介し、多くの方に楽しんでいただきたいと思います。

○丸教育長 ありがとうございます。それでは、ご質問等あればお願いします。——よろしいですか。それでは、ないようですので、これより事務報告に対する質疑に入ります。質疑があれば挙手をお願いします。

○蒲田委員 7ページ、市内小学校特別支援学級体験会、県立特別支援学校体験会を各小学校で実施し、千葉県立我孫子特別支援学校のコーディネーターも参加したとありますが、県立の特別支援学校の説明も一緒に行ったということでしょうか。

○遠藤教育研究所長 その通りです。小学校の場合、市立小学校の特別支援学級と我孫子特別支援学校等の県立の特別支援学校を検討している保護者の方に対応するため、千葉県立我孫子特別支援学校のご協力を得て実施しています。

○蒲田委員 ありがとうございます。また、我孫子第四小学校については2回実施したとありますが、2回に分けて実施した理由を教えてください。

○遠藤教育研究所長 我孫子第四小学校の場合、今回の体験会の対象となる子どもに対して知的の支援学級と情緒等の支援学級を別々で体験ができるように対応しているため、2回に分けて開催しました。

○蒲田委員 ありがとうございます。保護者の方々はどこで学ぶことが子どもにとって良いのか悩みながら検討していると思います。細やかな対応をありがとうございます。これからもよろしくお願いします。

○丸教育長 事務報告に関する質問はほかにございますか。——よろしいですか。それでは、ないものと認めます。事務報告に対する質疑を打ち切ります。

次に、事務進行予定について質疑があれば挙手をお願いします。

○蒲田委員 9ページ、鳥の博物館のがたんとあびこ自然観察隊について、今年度は定員を10名として、距離を保つことや消毒など感染症対策に留意し

ながら開催していただいたと思います。来年度以降の定員について、現状を踏まえてどのように対応していくのか教えてください。

○丸山鳥の博物館長 現状では、まん延防止等重点措置も適用されており、収束が見えていないため、来年度も定員を10人とする予定です。しかし、毎月行っているてがたんの学芸員や市民スタッフ等との情報交換を継続し、今後の感染状況を注視し、臨機応変に対応してより多くの方に楽しんでいただけるよう検討していきます。

○蒲田委員 ありがとうございます。市民が参加できる活動は制約が多い中で工夫をいただいていると思います。先の状況は見えませんが、安心・安全を確保して開催していただきたいと思います。

○丸教育長 ほかの事務進行予定について質問等あれば、お願いします。

○村松委員 小学校、中学校の卒業式について、新型コロナの状況を鑑み、来賓を含め保護者等人数の制限は予定していますか。

○鈴木学校教育課長 卒業式については、まん延防止等重点措置が適用されていることや、感染者数の増加を鑑み、教育委員会から全小中学校へ来賓はなしとし、参加者は児童生徒、保護者、職員としています。また、学校の規模や人数も学校ごとに異なるため、保護者の数等については、その学校の状況に応じて、出席者を各学校で考えています。

○村松委員 分かりました。ありがとうございます。

○丸教育長 ほかの事務進行予定について質問等あれば、お願いします。

——よろしいですか。それでは、ないものと認めます。事務進行予定に対する質疑を打ち切ります。次に、教育事業全般について質疑があれば挙手をお願いします。——よろしいですか。

それでは、ないものと認めます。以上で諸報告に対する質疑を打ち切ります。